

日本語 ボランティア 養成講座

はじめの
一歩



「さあ!ボランティアを始めよう はじめの一歩」というサブタイトルが付いたこの講座は、日本語を教えるボランティアに関心があり、まだボランティアをしたことのない方を対象にしたものでした(4月23日、受講者58名)。

CONTENTS

- 1 イベント
- 2 コラム
- 3 ご案内



▲会場の様子

内容は

- 日本語に困っている外国人はどれくらいいるのかな? ⇒ **さいたま市在住の外国人は約27000人**
- どうやって外国人に声をかけたらいいの? ⇒ **共通語の日本語であいさつ**
- 日本での生活で困っているのはどんなこと? ⇒ **医療の事やお金の手続きなど**
- 外国語はできないけどボランティアってできるの? ⇒ **日本語で活動します**
- 外国人を手伝うボランティアってどんなことをするの?
⇒ **日本語でコミュニケーションを図り、日本語を覚えるお手伝いなど**



具体的には、受講者が2~3人のグループに分かれ、自己紹介をしたり、料理の話をしたり、動詞(会います、買います等)を使って質問をしあったり、実際の日本語ボランティア教室での様子が体験できるものでした。最後に「上手に話すポイント」が紹介されて講座は成功裏に終了しました。



講師 **有田 玲子**さん

- 東京にほんごネット代表
- 日本語学校非常勤講師
- ひらがなネット株式会社
日本語教育アドバイザー
- 自治体などが発信する情報のやさしい日本語への翻訳業務、動画作成監修
- 文化庁 日本語学習サイト『つながるひろがる にほんごでの暮らし』作成メンバー

上手に話すポイント

- 1 一歩ずつ進めよう
- 2 短い文で話そう
- 3 イラスト、写真、ジェスチャーを使おう
- 4 質問上手になろう(ただし、ねほりはほりはしない)
- 5 話したい!伝わった!の気持ちを大切に(外国人学習者にとって)



観光ボランティア向けオンライン講座



令和3年度第2回オンラインボランティア養成講座が、3月5日に開催されました（参加者32名）。今回のテーマは、さいたま市の“街歩き観光スポット”を訪日外国人にどのように伝えるかについて、大宮エリア、浦和エリア、岩槻エリアの代表的な観光地が動画と資料で紹介されました。

大宮エリア

武蔵一宮氷川神社、大宮盆栽美術館、鉄道博物館

浦和エリア

鰻料理店、調神社、埼玉会館（鳳翔閣跡）、玉蔵院

岩槻エリア

岩槻人形博物館、久伊豆神社、時の鐘、せんきょうかん遷喬館



対象施設について、そのポイント・見どころ、訪日外国人に伝えたいポイントが日本語と英語で説明されました。施設固有の情報だけでなく、興味深い周辺情報（例：神様が降臨される神聖なエリアが「神社」と呼ばれている）も含まれていました。

この講座で使用された動画が後日、受講者に送られてきました。臨場感あふれる映像が有効的に使用されており、意欲を誘発されて感謝している、と高評価でした。また、時間管理についての意見もありましたが、この講座を続けてほしい、という声も多く、実務に即した内容の濃い講座でした。



▲講座を進行しているボランティアスタッフの皆さん

わくわく



グローバルフェスタ2022 開催

2022年2月27日（日）、さいたま市国際NGOネットワーク主催、さいたま市とSTIB共催、さいたま市教育委員会など後援のもと、ハイブリッド方式（実会場とオンライン）で多数の参加者が集まり行われた。

SDGsとは、2030年に向けて2015年に国連で合意された17の「持続可能な開発目標」ですが、さいたま市が「SDGs未来都市」に選定されています。

このフェスタでは、さいたま市の下記3団体がSDGsへの取組みと学びの内容、更に自分達がSDGs目標達成に向けてできることを考えプレゼンを行いました。

1. 大宮アルディージャ

障害者サッカー大会の開催などスポーツを通じて夢と感動を分かち合える、より良い地域社会の実現に貢献する積極的な活動

2. さいたまヨーロッパ野菜研究会

市内の若手農家・シェフなどがヨーロッパ野菜の栽培と普及に取り組んでいく「さいたまの新しい農業」

3. 埼玉YMCA

豊かな社会の創造のため、ITやプログラミングの学びの機会を提供する社会課題解決の取組み

最後に、参加者から、どんなSDGsの取組みが実行されているかをもっと市民に広めることが必要であり、市内の地域社会でSDGsの取組みが行われている事に感謝したいとの声が出ていました。



Let's ボランティア

藤田宏子さんのお話です。サロンスタッフ、にほんごのへや、日本語ボランティア養成講座、日本語スピーチ大会、ミニ講座、姉妹友好都市交流、日本語国際センター交流会等でご活躍。

気がついたらIECに通って十数年。生活の一部になっていました。きっかけはパルコのついでに立ち寄った9階でサロンスタッフ募集を見たことです。すぐに木曜日のサロンスタッフとしてIECに居場所ができました。サロンのイベント情報から語学講座でスペイン語の勉強、日本語ボランティア養成講座に応募、にほんごのへやで外国人と学習、そしてそのほかの事業にも関わってきました。地元の仲間や気持ちを伝え合える外国人の友人ができたことは大きな収穫です。

市民訪問団として参加した姉妹都市のメキシコのトルーカでは、市長同行のためSP警護で移動し、歓迎のレセプションではオフィシャルなオーケストラで出迎えていただきました。ホームステイでは言葉が通じなくても家族ぐるみで歓迎され、個人旅行にはない体験ができました。また、センター交流会で知り合った外国の日本語教師と交流を重ね彼らの故郷を訪ねたときの感動は忘れられません。逆に日本では私にできるおもてなしをしています。友人の輪が広がりIECから派生した仲間は今ではかけがえのない

ものになりました。

IECのボランティアの特徴は私たち市民が主体で企画運営して事務局がバックアップしてくれることです。ボランティアというと単に参加するイメージですが、愛着が湧き達成感があるのも魅力です。自分にぴったりのボランティアを見つけにIECを訪ねてください。



▲日本語スピーチ大会の総司会(一番右)



▲姉妹都市のメキシコのトルーカに市民訪問団として参加。メキシコ「死者の日」のパーティーでホームステイのママと一緒に(2014)



▲日本語国際センター交流会で知り合ったタイとインドネシアの日本語教師とバンコクで再会(2018)

大好き! SAITAMA さいたま



タパリヤ ススマさん
(ネパール)

ネパール出身、来日4年目のタパリヤ ススマさんにお話を伺いました。

子供の頃から外国に行くことに憧れていて、中学生の時に学校に来ていた日本人のボランティアと日本で暮らしている親戚の影響を受けて、来日することを決めました。

日本語学校に入学し、さいたま市に住むようになりましたが、買い物にも交通にも不自由しない環境をととても気に入っているとのこと。災害の心配も少ないのでご両親も安心されているそうです。学校の寮を出るときに部屋を探る際にアルバイト先のパートさんが親身になってお手伝いしてくれたこともあり、さいたまの住民は優しい印象があるようです。

来日して一番驚いたことは、両親に対して子供が敬語を使わないこと。ネパールでは、両親にも丁寧な言葉遣いでお話をするとのこと。親子が友達のように話している様子に大変驚き、子供が成長して独り暮らしを始める人が多いことも意外に感じたそうです。ネパールでは成人した子供が親の面



▲大好きな家族と一緒に

倒を見るのは当たり前、家族で暮らす家庭が多いようです。

また、一人の時間が欲しいと言う主婦を多くみますが、家族がいるのにどうして一人になりたいのかまったく理解できないようです。ネパールにはハリタリカ ティージ(Haritalika Teej)と呼ばれる女性だけのお祭りがあります。旦那様やボーイフレンドのために、3~4日間お祈りやファスティング(断食)等を行います。普段は着ないサリーを身にまとい、暑い中1km離れた寺院に裸足でお祈りに行く儀式はススマさんも経験し、ファスティング中は水も飲めず、倒れそうになってしまったそうです。

春から就職が決まり、今は自動車の免許を取得するために自動車学校に通っています。

免許を取得したら、仕事にはもちろんですが、日本の各所をドライブしてみたいとのこと。

「日本に馴染めず帰国してしまった友人もいますが、私は文化の違いがあるから楽しいと思います」と、スピーチ大会をはじめ色々なことに意欲的に挑戦し、とても元気で明るいススマさんでした。



▲スピーチ大会にて

国際交流センター事務局が 新体制になりました！

4月1日より、3名の新しいメンバーを迎え、総勢9名で国際交流センター事務局がスタートしました。

この「IEC*NEWS」でもお知らせしているような各種事業がボランティアの皆さんによって運営されています。2年以上にわたるコロナ感染禍においても、リモートを活用するなどして、事業を継続していただいております。

私たち事務局のメンバーは、各種事業の運営チームと情報を共有し、協力・連携しながら事業を進めております。

これからも、市民の皆さんが参加したくなるような、楽しく、親しみやすいセンターを目指してまいりますので、お気軽にコンナール9階の国際交流センターにお立ち寄りください。



よろしく
お願いします

おしゃべりサロン 参加者の皆様へ



現在おしゃべりサロンを一部再開しています。

以下のことに留意いただき参加をお願いします。

- 体調が少しでもすぐれないと思われる方は、参加をご遠慮ください。(喉の痛み、咳、発熱、倦怠感、腹痛等)
- 事前にご自宅で検温
- 筆記用具の持参
- マスクの着用
- こまめに手指の消毒
- 参加記録確認書の記入(参加ごと、毎回)
- 使用された椅子、机等を個々に消毒していただきますようお願いいたします。



7月以降のスケジュールは
HPをご覧ください。

詳細はこちら ▶



国際交流センターCIR※による特別企画

英語 (3月4日・11日開催)

講師は英語Leander Hughes先生 (アメリカ ミネソタ州出身)

昨年度末に好評だった、日常会話のみならず更に語学力を磨きたい方の為に、ステップアップ語学コースが再びオンラインで開催されました。今回は全2回、テーマはTEDトークから「The science of stage fright」ー舞台恐怖症(人前になるとあがる)についてと「How can you change someone's mind?」ー他の人の気持ちを変えるには、に関して参加者自身の経験等をふまえ、グループに別れ討論し、グループリーダーが意見をまとめて発表しました。参加者からの満足度も高い充実した講座となりました。



▲英語の受講者のみなさんと講師のLeander先生



※CIR : Coordinator for International Relations



公益社団法人 さいたま観光国際協会
国際交流センター

Saitama Tourism and International Relations Bureau (STIB)
International Exchange Center (IEC)

〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂町11-1 コムナール9F (JR浦和駅東口 浦和パルコ上)

TEL 048-813-8500 FAX 048-887-1505

E-mail iec@stib.jp URL https://www.stib.jp/kokusai

